

難題を解決してくれた商品力と サポート面の品質が導入の決め手

THE AKIHABARA CONTAINER様 (MITSUBA VISION AKIHABARA)

東京都千代田区

「THE AKIHABARA CONTAINER」は、秋葉原カルチャーを発信する新たな基地として2018年10月グランドオープン。様々なイベントが行えるスペース、限定アイテムなどを販売するショップ、2020年に向けた秋葉原のインバウンドユーザーの拠点となるAKIBA観光協議会運営の「秋葉原観光情報センター」も併設され、様々な人が楽しめる場所となっています



依頼内容：

「THE AKIHABARA CONTAINER」には、訪れた人を引きつける、ひときわ目立つ大きなLEDビジョンがあります。このLEDビジョンは、秋葉原おもてなしキャラクター「秋津ミツバ」の名前を冠し「MITSUBA VISION AKIHABARA」と命名されています。「MITSUBA VISION AKIHABARA」は、AKIBA観光協議会運営の元、秋葉原のための秋葉原らしいコンテンツを放映しています。当社は、「MITSUBA VISION AKIHABARA」の音のお手伝いを行いました。

「MITSUBA VISION AKIHABARA」に 当社の加振器を使うことになった経緯：

実は最初から加振器を想定していたのではなかったのです。THE AKIHABARA CONTAINERを運営している（株）インドアさんが、ビルのオーナーさんに「MITSUBA VISION AKIHABARA」の音を出すために、ビルの外にスピーカーを取り付けられるように申請したのですが、ビルの規約でNGだということが分かったのです。「MITSUBA VISION AKIHABARA」は音も欠かせない要素だったのでその時は、目の前が真っ暗になりました。そこでスピーカーをビルの外に設置しなくても十分なボリュームで音を出す方法がないか調べていて、以前聞いたことがあった、振動を使って音を出す「加振器」という装置の事を思い出したのです。これならショーウィンドウ部分に設置すればいいのではないかと思います。



株式会社ジェイ・ティ
半田康一様

お客様の声：

御社を含めて数社にお声を掛けさせていただき、実際に実験をすることになりました。その結果、ガラスについては、素材の関係で音のビリつきが発生することや、大きな音が出しにくいことが分かってきました。実は、実験段階で、音の大きさや、価格面では他社さんの方が条件が良かったのです。しかし他社さんは、音は大きく出せたものの、ガラスによるビリつきや音域の狭さが解決できなかったのです。一方、御社は、アンプと加振器をトータルでご提案いただき、エンジニアの方が、現場で様々な調整をしてガラスのビリつきなどの難題を解決してくれました。こうした商品面とサポート面の品質が導入の決め手になりました。

導入製品：

スピーカーシステム「D-PS100」 / 「SMS6.3(W)」、モノラルミキシングアンプ「MCA1120」

お問い合わせ・ご相談はこちら

オーディーエス株式会社 03-6804-6395 (平日：11:00~16:00) info@ods.co.jp